



SCS（関中コミュニティスクール）のスローガン
「しあわせ関中計画」



■ 関中学校の制服が新しくなりました

来年度から関中学校の制服が新しくなります。性の多様性に対応して、ブレザーに加えて男女同柄のスラックス・スカートから組み合わせを自分で選べる制服になりました。



来年度からの新制服



校舎デザインのエンブレム
と「関の山車」のボタン

制服のデザインについては、関中学校・関小学校・加太小学校の在校生と保護者の皆様に意向投票をしていただき、現在の色、形となりました。また、夏休みに関中学校在校生からブレザーボタンのデザインを募集し、最優秀賞として「関の山車」をモチーフとしたボタンが選ばれました。



11月12日（金）に行われた人権講演会ではご自身もトランスジェンダーである山口颯一さんに来ていただきました。生徒たちから関中学校の人権学習の取り組みを報告し、山口さんからはこれまでの生い立ちや多様な性の捉え方・受け止め方などについてご講演いただきました。



■ 校則改定を進めています

関中学校では制服の改定と合わせて、生徒会を中心に校則改定を進めています。新校則案では、頭髪の項目に対する細かい基準の記載がなくなり「学校生活に適する頭髪」となりました。また、服装について、これまでは明確な基準はありませんでしたが、新たに服装の項目を設け、「学校指定の物を正しく着用しましょう」という文言が提案されました。1学期から生徒会役員会での話し合いを進め、第3回の学校運営協議会では地域の方からの意見も伺いました。

後期生徒会役員からの意見

- ・ふさわしい色などは人によっても違う
- ・色々な考えがあっていいと思う、新ルールに賛成
- ・いきなり出すのではなくて、新校則に向けて期間を設けて、意見をもらう期間にしたらどうか

会議で出た意見

- ・どういう形が理想なのか生徒たちもつかみきれないところがあるので、理想像を示してあげる必要があるのかなとも思う
- ・よっぽど目につくものは指導しますという風に大胆に舵を切るべきではないか

■ 11月18日に教育懇談会が開かれました

11月18日に関中学校教育懇談会が開催され、昨年度に引き続き、日本ペップトーク普及協会の田上のりこさんにお越しいただき、「大人も子どもも幸せになるコミュニケーション～ペップトークを日常に!～」というテーマでご講演いただきました。



ペップトークとは？

もともとはアメリカのスポーツ現場で監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチのことで、これを自分、家族、仲間に伝えるコミュニケーションスキルとして確立したものの。スポーツだけでなく、家庭でもすぐに実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーションです。

《参加された方のアンケートから》

「受容」がとても大事であるということが分かりました。

ありがとうと声に出して伝えることから始めてみる。

今後色々な人と話をするときにペップトークを取り入れていきたいと思いました。

まずは自分を満たすこと。笑顔でいられる自分になるほどなと思いました。

■ 11月18日 第3回学校運営協議会が行われました

《主な協議内容》

- ・7月～11月の子どもたちのようすについて
- ・制服改定の進捗についての報告
- ・校則改定について



第3回会議のようす

11月18日第3回学校運営協議会がひらかれました。今回は、7月からの子どもたちのようすや文化祭などの行事のようすについて報告した後に、校則改定について協議しました。地域・保護者の方の代表として委員の方々から様々なご意見をいただきました。(表面参照)

■ 学校運営協議会委員の中島孝さんが教育委員会より表彰されました



長年に渡り、関中学校の教育協議会の会長を務められたことにより、中島孝さんが教育功労賞を受賞されました。現在も民生児童委員として学校運営協議会委員をされています。11月18日の第3回学校運営協議会にて、落合会長から、賞状が手渡されました。

今年度の学校運営協議会の予定

2022年2月 第4回会議、役員会

関中ホームページにて

普段の関中学校の様子がご覧いただけます

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/sekichu/>



関中学校HP